

JIA 関東甲信越支部長活動報告

2015年5+6+7月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

【報告】 新国立競技場に関し日々状況が変化する中、JIAとして緊急にメッセージを出す必要があると判断し、7月17日（金）正午、新国立競技場の整備計画についてJIA 芦原会長が提言を報道各社に配信しました。その約3時間後、安倍首相が新国立競技場計画の抜本の見直しを決断し発表されました。

芦原会長提言の要旨は、①ザハ案（コンペ当選案）とそれを基にした基本設計実施設計は予算を大きく超過したため採用できないとして白紙に戻し、プロポーザルで選ばれた現設計チームを継続させることが見直しを早期に実現させる最善の方法である。その場合、ザハ事務所の意向次第で設計チームとして残る可能性がある。②ECI方式により参加している施工会のノウハウも発揮できるようにすることが順当だが、工事発注に当たっては、工事予定者の立場は外して複数の施工会社による競争見積もりとし、価格の透明性を確保して国民への説明責任を果たすこと。③発注責任者と設計責任者がしっかりとリーダーシップを発揮できるように体制を組み、国民にわかり易い情報公開を図ることが不可欠である。

上記の提言に伴い設計本部三会に声を掛け、1週間後の24日と27日、建築設計三会会長からの提言を、関係閣僚会議正副議長、推進室長、文科大臣、国交大臣、東京都知事、JSC理事長に出しました。要旨は、①設計条件を見直すこと。②これまで設計を担当してきた設計チームに設計の見直し並びに設計に当たらせることで最も早期に最善の施設整備が可能になること。③プロジェクトの責任体制を強固なものにし、計画の見直しや事業者の選択のためには豊富な知見を有する専門家の参画が欠かせないこと。

【見解】 あるべき論でなく、時間が限られている中で、今できる最善のことを専門家の立場から提言していくことが大事だと考えています。利益相反の狭間で質の担保を維持しにくいデザインビルドを前提として議論が進んでいる今の状況が心配です。デザインの好き嫌いや報酬額の多寡が話題になっていますが、マイノリティである外国人をスケープゴー

トにすることなどあってはならないことです。コストばかりが議論される今の風潮は危険です。国民が誇りを持つ歴史ある東京の中心地に造るのですから、長年にわたるレガシーとなる建築並びにその環境を十分な検討と議論の上でかたち造るべきです。まずコストと施工者を決めてその範囲内でできるものを造ってしまうという乱暴なことにならないようにすべきです。

2年間かけて設計を行い、難しい敷地特性や周辺環境を熟知した、ザハ事務所を含む現設計チームが設計の見直しを継続することが最善の方法だと考えます。かの地に中途半端なものを造る位なら、建設コストが百億円単位で少ないと想定される湾岸など東京の中心でない場所への敷地変更や、ラグビーワールドカップ開催が予定される日産スタジアムを再整備して東京オリンピック・パラリンピック大会として開催することも検討に値すると考えます。

支部長活動報告

5月

- 7日 本部総務委員会を開催。5月の理事会の議題に備えるため、特に資格制度について協議する。
- 8日 日事連にて設計本部三会和国交省住宅局を交えて、改正建築士法の普及等について意見交換する。
- 12日 第226回理事会が開催される。資格制度、改正建築士法、公共工事発注方式の多様化ガイドライン、本部総会のスケジュール、次年度理事会スケジュール、等。
- 15日 朝9時半から支部常任幹事会と、続いて支部幹事会が開催される。午後1時半から支部通常総会、3時からは会員集會が開催される。多くの会員に参加していただき活発な意見交換が展開された。
- 20日 東京事協大内会長、東京士会可児副会長と共に、都庁各局に出向き、要望書を届ける。アーカイヴス運営會議が開催される。書籍「菊竹学校」、今後の出版計画、全国大会でのシンポジウム、展示会について。
- 21日 名誉会員選考委員会が開催され全員が選ばれた。支部委員長會議が開催される。2年ほど前から委員長會議が定期的に行われるようになったが、ほぼ全委員会委員長が出席されるようになり、実のある議論が展開されている。
- 22日 本部総務委員会が開催される。事務局等管理部門の規程類について、等。金曜の会ではこれから隔月で6回に渡り香山寿夫先生に講演をいただく。
- 23、24日 代々木青少年オリンピックセンターで保存大会が開催される。地方での大会でないため泊まり掛けは少ないが懇親会及び二次会では大いに盛り上がった。シンポジウムではどのように次世代へバトンタッチするか、

市民と専門家とのかかわり合い、がテーマとして議論された。保存大会としては今回が一つの区切りになる。来年は支部大会として保存以外のテーマも盛り込みながら群馬で開催予定。

28日 第1回支部大会実行委員会が開催される。学術、財務、運営、広報、を部会として発足させる。建築まちづくり委員会が開催される。保存大会シンポジウムの報告、全国大会シンポジウムについて、自治体支援としてコンペガイドラインの作成について、新国立競技場について、が話し合われた。

31日 大分にて全国支部長会議が開催される。登録建築家制度、若手会員増強がテーマとして話し合われた。

6月

1日 大分から東京に向かい、15時より東京建築士事務所協会総会にて挨拶をする。

3日 第227回理事会が開催される。通常総会議案が承認される。資格制度改革に伴い、会員規程変更が決議される。

10日 東京建築士会総会懇親会にて挨拶する。

12日 建築家倶楽部で新入会員の集いが開催され、芦原会長が出席されあいさつを頂く。夕刻より新人賞を勝ち取った原田夫妻、永山氏の講演がある。

17日 本部総務委員会を開催する。資格制度委員長から資格制度の規則、細則変更案の説明を受ける。総務委員会、フェロシップ委員会の役割分担が議論される。東京三会建築会議が開催される。

19日 JASCA 総会懇親会に出席する。

25日 今日には228回理事会の後、2015年本部通常総会が開催される。その後、資格制度に関する意見交換会があり、総会懇親会が催された。馬淵澄夫衆議院議員、国土交通省から6名、三井所士会会長、大内事務協会会長、他、団体の会長、理事長が多数列席される。

27日 恒例の泊まり掛け新旧支部常任幹事会が伊豆高原で開催される。

29日 中国から建築家団体の30名がJIAを訪問し、建築家倶楽部で迎え意見交換する。

7月

7日 クライアント支援委員会シンポジウム本番。辯護士湊先生、会計士小笠原先生と対談する。各々の業界の状況を踏まえて、若手職能者にとって意義のある提案や協働を議論した。

10日 支部大会実行委員会を開催する。部会ごとの報告と群馬地域会からは日程、会場、運営上の仕掛けなどの案が報告された。金曜の会で香山寿夫先生による第2回目の講演会が開催される。

16日 本部総務委員会を開催する。資格制度規則改正について、CPD規則につい

- て。支部常任幹事会を開催する。23日の地域サミット議題について、支部収支の検討、会員増強について。
- 17日 JIA 芦原会長が新国立競技場に関する提言を出し、正午に報道各社に配信する。早速 NHK テレビから取材の要望があり、会長は JIA にて単独インタビューを受ける。アーキテツ・ガーデンメインセミナーが開催される。建築家倶楽部での懇親会は大変盛り上がり、21時には皆で NHK テレビの会長インタビューを観る。
- 21日 東京三会建築会議が開催される。新国立競技場提言に関して、建築士事務所の処分問題について。
- 23日 第1回地域サミットが開催される。公共建築発注方式の多様化について、支部大会について、支部収支バランスと地域会活動費について、新国立競技場について。

支部長活動報告 2015年5+6+7月

2015年8月3日作成 上浪 寛